



SS-MIX拡張ストレージ ファイル仕様

第7.0版 2022/10/01

株式会社エスイーシー
ID-Linkサポートセンター

はじめに

- ◆ 本資料は、SS-MIX普及推進コンソーシアムが制定している「SS-MIX2 標準化ストレージ 構成の説明と構築ガイドライン」の仕様に則り、**ID Link**と拡張ストレージの連携を行うための仕様書です。
- ◆ 上記ガイドラインの拡張ストレージに関する仕様については、Version1.2bまでは「SS-MIX 標準化ストレージ」と同じ内容です。
そのため本資料では、「SS-MIX2 Ver.1.2b」までにに関する仕様を「SS-MIX拡張ストレージ」、
「SS-MIX2 Ver.1.2b_revised」以降に関する仕様を「SS-MIX2拡張ストレージ」と表記します。

【ガイドラインのVersionと拡張ストレージに関する仕様】

- SS-MIX2 Ver.0.96 --> SS-MIX拡張ストレージ と同じ仕様
- SS-MIX2 Ver.1.0 --> SS-MIX拡張ストレージ と同じ仕様
- SS-MIX2 Ver.1.2 --> SS-MIX拡張ストレージ と同じ仕様
- SS-MIX2 Ver.1.2b --> SS-MIX拡張ストレージ と同じ仕様

- SS-MIX2 Ver.1.2b_revised以降 --> **SS-MIX2**拡張ストレージ と同じ仕様

1. SS-MIX拡張ストレージ

1-1. データ形式について

◆以下のデータ形式をサポートします。

データファイルは、後述の[命名規約](#)に従ってください。

■ [単一ファイル形式 \(PDF等\)](#)

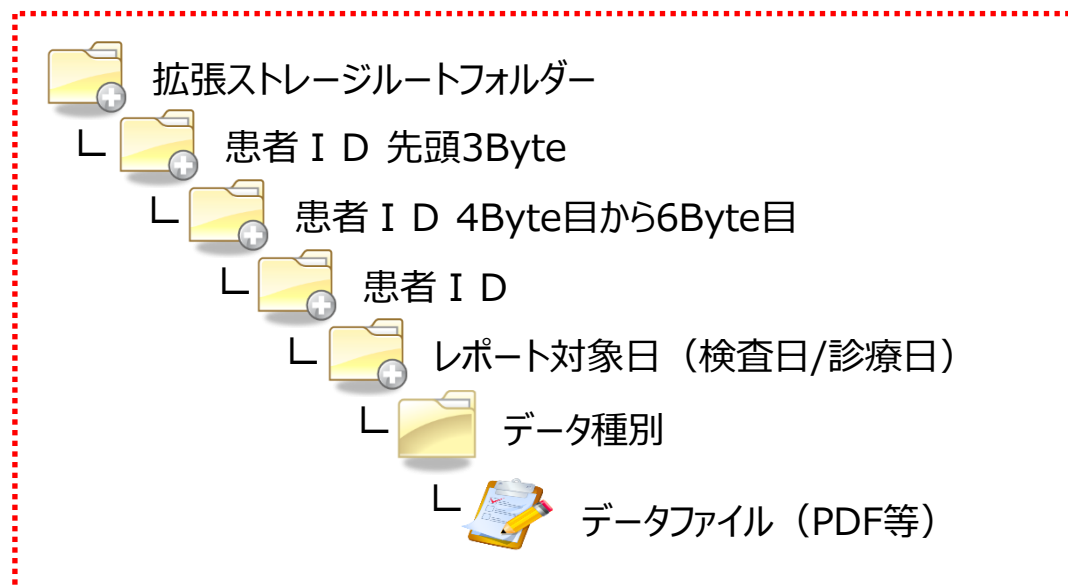
■ [複合ファイル形式 \(XML+JPEG等\)](#)

データファイルが外部参照用のリンクを持てる形式の場合、データファイルと同一階層のフォルダに画像ファイル等を格納することで、複数のファイルで構成することも可能です。

1-2. フォルダ階層について 単一ファイル形式 (PDF等)

- PDFのように単一のファイルでレポートが表現可能な場合は、データ種別フォルダの直下にファイルを置きます。
- HL7CDA R2に準拠した形のXML(診療情報提供書や診療記録(SOAP))や、HL7 V2.5メッセージのバイタル情報、HTML等も該当します。
※バイタル情報については、後述の[メッセージ仕様 \(バイタル情報\)](#) を参照してください。

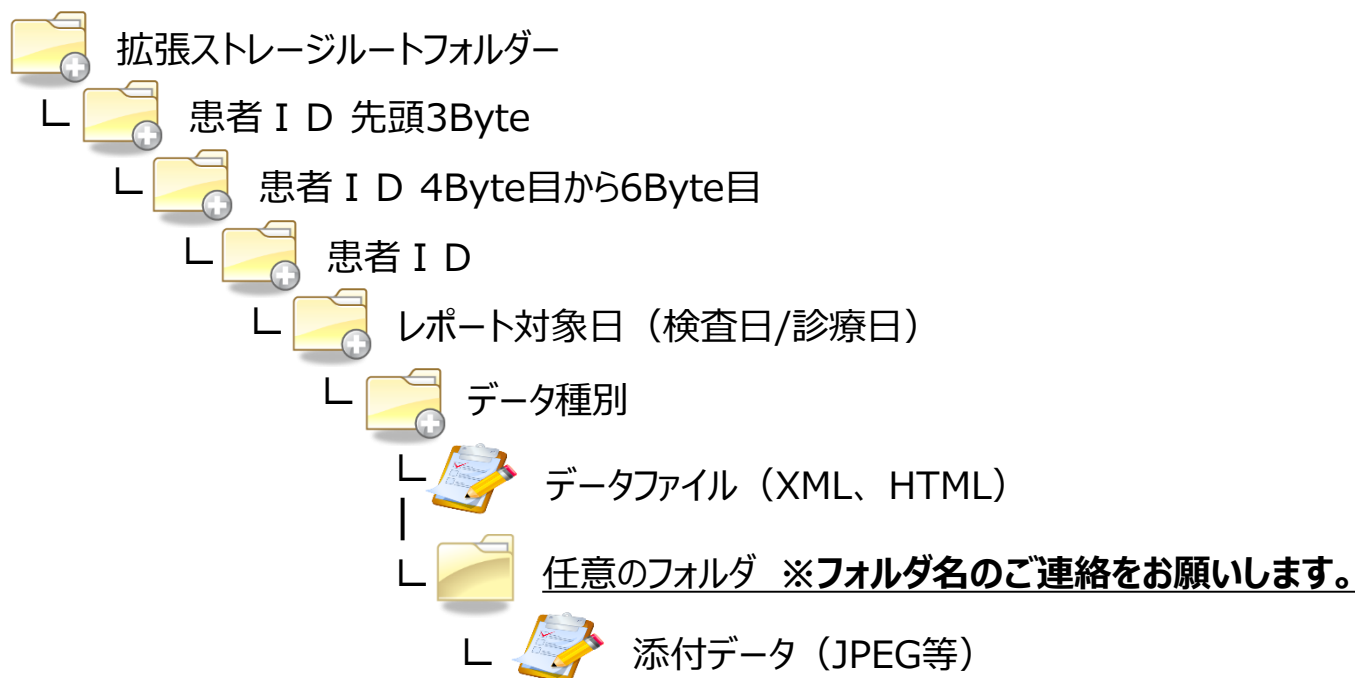
【拡張ストレージ】



1-3. フォルダ階層について 複合ファイル形式 (XML+JPEG等)

- XMLやHTMLのように外部参照用のリンクを持てる形式の場合、データ種別フォルダの直下に外部参照用フォルダを作成し、その下に添付データを格納することも可能です。
- XMLやHTMLに添付データのパスを相対パスで記述してください。
- XMLの場合は表示用のスタイルシートが必要となりますので、ご用意をお願いします。
※HL7 CDA R2形式の場合は、弊社にて準備しているため必要ありません。

【拡張ストレージ】



2. SS-MIX2拡張ストレージ

2-1. データ形式について

◆以下のデータ形式をサポートします。

データファイルを格納するコンテンツフォルダは、後述の[命名規約](#)に従ってください。
データ種別フォルダ直下にコンテンツフォルダが追加された点が、SS-MIX拡張ストレージと異なります。

■ [単一ファイル形式 \(PDF等\)](#)

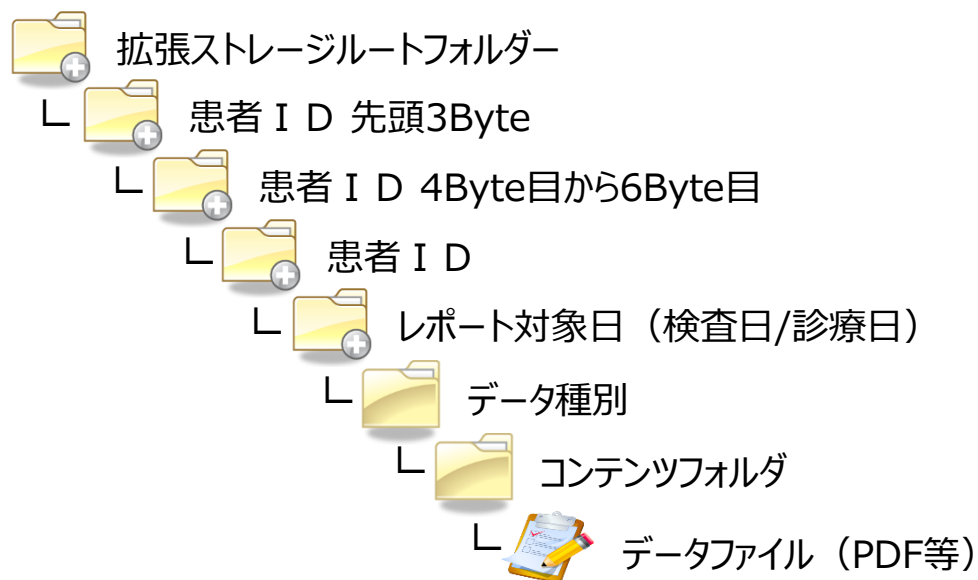
■ [複合ファイル形式 \(XML+JPEG等\)](#)

データファイルが外部参照用のリンクを持てる形式の場合、
データファイルと同一階層のフォルダに画像ファイル等を格納することで、
複数のファイルで構成することも可能です。

2-2. フォルダ階層について 単一ファイル形式 (PDF等)

- PDFのように単一のファイルでレポートが表現可能な場合は、コンテンツフォルダの直下にファイルを置きます。
- HL7CDA R2に準拠した形のXML(診療情報提供書や診療記録(SOAP))や、HL7 V2.5メッセージのバイタル情報、HTML等も該当します。
※バイタル情報については、後述の[メッセージ仕様 \(バイタル情報\)](#) を参照してください。

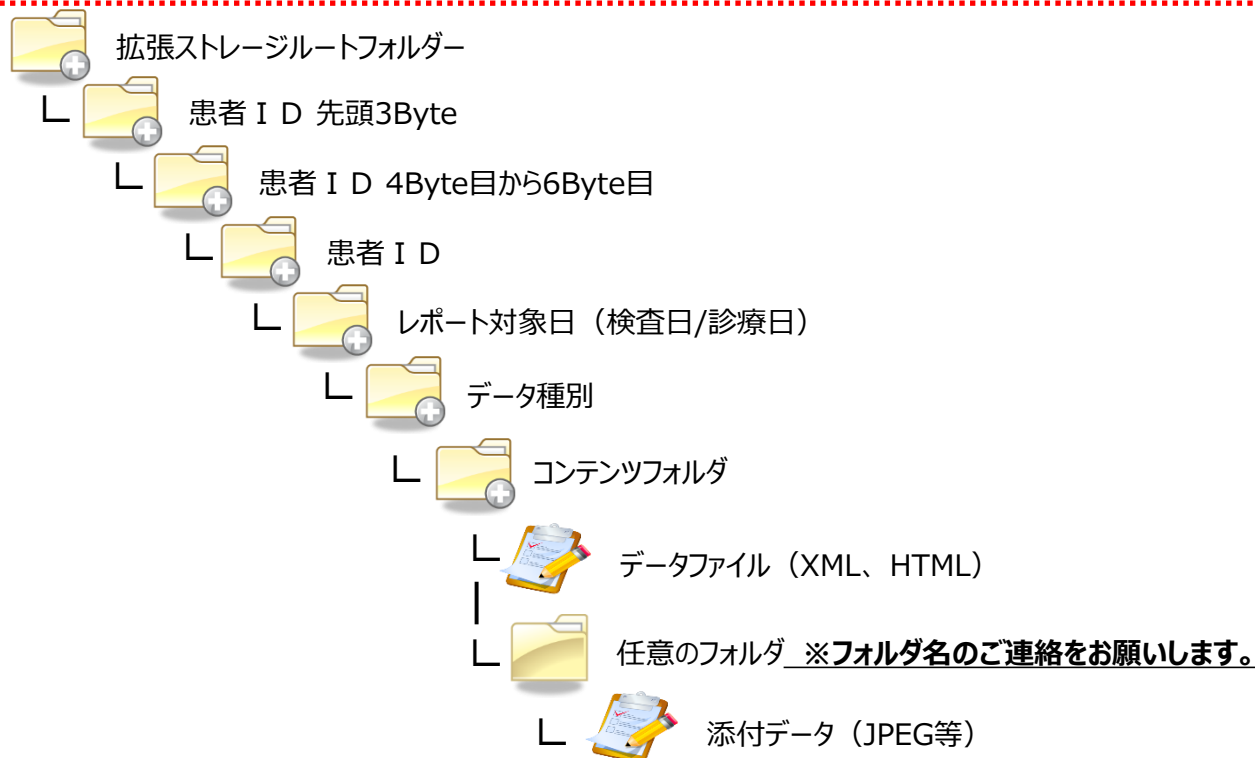
【拡張ストレージ】



2-3. フォルダ階層について 複合ファイル形式 (XML+JPEG等)

- XMLやHTMLのように外部参照用のリンクを持てる形式の場合、コンテンツフォルダの直下に外部参照用フォルダを作成し、その下に添付データを格納することも可能です。
- XMLやHTMLに添付データのパスを相対パスで記述してください。
- XMLの場合は表示用のスタイルシートが必要となりますので、ご用意をお願いします。
※HL7 CDA R2形式の場合は、弊社にて準備しているため必要ありません。

【拡張ストレージ】



3. 補足説明

3-1. 命名規約について

SS-MIX拡張ストレージにおけるデータファイル、
またはSS-MIX2拡張ストレージにおけるコンテンツフォルダは、以下の規約に従うようお願いします。

患者ID_診療日_データ種別_キー情報_発生日時_診療科_コンディションフラグ(.拡張子)

※拡張子はSS-MIX拡張ストレージにおけるデータファイルの場合のみ付与してください。

No.	項目	内容	利用目的
1	患者ID	フォルダ構造に必要な項目と同様	カレンダーの表示位置を特定するために利用
2	診療日		
3	データ種別		
4	キー情報	オーダNo等、文書を一意にする識別番号。 前日、当日のように日が違う場合は、同一番号も可 全ファイルに対して、通番でも可	画像・レポート一覧のオーダNoを表示するのに利用
5	発生日時	作成日時 (YYYYMMDDHHMMSSFFF表記を推奨)	データファイル名/コンテンツフォルダ名を一意にするために利用
6	診療科	診療科（入力組織） 診療科コード自体を保有しない場合は固定で「000」（3桁表記）もしくは「00」（2桁表記）を設定する。	画像・レポート一覧の診療科を表示するのに利用
7	コンディションフラグ	有効か無効かを識別するフラグ 表示（カレンダーに表示する）対象のものには、“1”を設定 修正元等、表示対象外の場合は、“0”を設定 対象外データを履歴として残す場合は、“2”を設定	表示対象か否かの判定に利用 0:無効 1:有効 2:履歴
8	拡張子	ファイルの種類	PDF、HTML、XML、JPEG等

3-2. 改版等によるデータ修正時の扱いについて

- ◆ 格納ファイルに対し、改版等によるデータ修正が発生した場合は、下記の2通りの方法のいずれかを選択し、対応してください。

■ コンディションフラグでの管理

ID Linkでは、3-1に記載したデータファイル/コンテンツフォルダの命名規約内のコンディションフラグにより、データ取得対象/取得対象外を判断します。

レポート等が改版された場合、改版前の情報を取得対象とさせたくない場合は、改版前のコンディションフラグを"**0**"または"**2**"に置き換え、改版後のコンディションフラグを"**1**"にすることで、改版後の情報のみ取得対象とすることが可能です。

■ 物理的にデータファイル/コンテンツフォルダを削除

データファイル/コンテンツフォルダを物理的に削除することで、取得対象外となります。更新される場合は、改版前のデータファイル/コンテンツフォルダを削除して、改版後のコンディションフラグを"**1**"にすることで、改版後の情報のみ取得対象とすることが可能です。

3-3. 各種レポートとデータ種別例

拡張ストレージのデータ種別は任意ですが、以下を例とし、該当しない場合は新たに定義してください。
 なお、Ver.1.2d以降ではLOINCを用いた標準文書コード表が用意されましたので、そちらも参照してください。

No	管理コード	英語標準ラベル	内容	データ種別
1	MD0020780	ExaminationRecord	検体検査実施記録および結果	REP-01
2	MD0020790	X-rayExaminationRecord	放射線検査実施記録および結果	REP-02
3	MD0020800	PhysiologicalExaminationRecord	生体検査実施記録および結果	REP-03
4	MD0020810	EndoscopicExaminationRecord	内視鏡検査実施記録および結果	REP-04
5	MD0020820	HistologicalExaminationRecord	病理検査実施記録および結果	REP-05
6	MD0020830	BacterialExaminationRecord	細菌検査実施記録および結果	REP-06
7	MD0020840	EchoExaminationRecord	超音波検査実施記録および結果	REP-07
8	MD0020850	MiscellaneousExaminationRecord	各種検査実施記録および結果	REP-08
9	MD0020860	DispositionRecord	調剤実施記録	REP-09
10	MD0020870	MedicationRecord	服薬実施記録	REP-10
11	MD0020880	InjectionRecord	注射実施記録	REP-11
12	MD0020890	SurgicalOperationRecord	手術実施記録	REP-12
13	MD0020900	TreatmentRecord	処置実施記録	REP-13
14	MD0020910	NutritionInstructionRecord	栄養指導実施記録	REP-14
15	MD0020920	MedicineInstructionRecord	服薬指導実施記録	REP-15
16	MD0020930	MedicineManagementRecord	薬剤管理指導実施記録	REP-16
17	MD0020940	RehabilitationRecord	リハビリ実施記録	REP-17
18	-	-	看護記録(SOAP)	KRT-01
19	-	-	バイタル情報	VIT-01

3-4. メッセージ仕様(バイタル情報)

バイタル情報については、データ種別が患者基本情報の更新(ADT-00)のOBXセグメントに結果情報を設定することにより対象となります。

■ 患者基本情報の更新メッセージ(ADT^A08)の定義抜粋

セグメント	セグメント名	
MSH	メッセージヘッダ	
[{SFT}]	ソフトウェア	
EVN	事象型	
PID	患者識別	
[PD1]	患者追加基本情報	
[{ROL}]	役割	
[{NK1}]	近親者情報	
PV1	来院情報	
[PV2]	来院補足情報	
[{ROL}]	役割	
[{DB1}]	身体障害	
[{OBX}]	検査結果	
[{AL1}]	アレルギー情報	
… 以下省略 …		

バイタル情報は、
検査結果[{OBX}]セグメントへ
設定してください。

3-4. メッセージ仕様(バイタル情報)

■ 検査結果セグメント(OBX)への設定

	フィールド名	説明
OBX-0	セグメント ID	セグメントID「OBX」を設定する。
OBX-1	セットID - OBX	シーケンス番号を設定する。
OBX-2	値型	"ST"を設定する。
OBX-3	検査項目	バイタル項目を設定する。 例： ^breath^ "breath" ※呼吸 "bpHigh" ※血圧(上) "bpLow" ※血圧(下) "pulse" ※脈拍 "temp" ※体温 "spo2" ※血中酸素飽和度
OBX-5	検査値	検査値を設定する。
OBX-11	検査結果状態	"F" ※最終結果を設定する。
OBX-14	検査日時	検査日時を設定する。 "YYMMDDHHMM" 例： 201311251615

3-5. XMLサンプルについて

下記URLから、HL7CDA R2に準拠した形のXMLサンプルがダウンロード可能です。
XMLファイル作成における参考資料としてお使いください。

https://www.mykarte.org/download/document/HL7_CDA_Release2_Sample.zip

◎ フォルダ構造

○ SS-MIX拡張ストレージ

ssmix (SS-MIX拡張ストレージルートフォルダ)

000

000

0000000010

20130516

KRT-01

0000000010_20130516_KRT-01_1_201305162143474_000_1.xml

FILE

00001.png

00002.png

○ ID-Link表示確認用

ID-Link

0000000010_20130516_KRT-01_1_201305162143474_000_1.html

FILE

00001.png

00002.png

3-6. 本環境でのテストの前に

本環境でのテストの前に、下記のご連絡・ご送付をお願いします。

下記の情報が揃い次第、弊社側のID-Link Gatewayのモジュールを作成・リリース準備をさせていただきます。リリース準備が整い次第ご連絡させていただきますので、本環境でのテストスケジュールをご調整・ご連絡いただくようお願いいたします。

なお、モジュールについては作成にお時間をいただきますので、本環境でのテスト・稼働のスケジュールが事前に決まっている場合は、support@mykarte.com へ 件名“SS-MIX拡張ストレージ連携テスト予定”で、ご連絡ください。

1. 利用するデータ種別
※3-3にデータ種別例を載せていますが、**該当がない場合は新たに定義してください。**
2. 共有フォルダサーバのIPアドレス
※事前に弊社サーバより、共有フォルダサーバへ疎通確認を行わせていただきます。
疎通確認が取れない場合は、ご連絡させていただきます。
3. ID-Link Gatewayと貴社側の共有フォルダサーバとの認証に必要なユーザー/パスワード
4. XMLを利用する場合は、**表示用スタイルシートの提供をお願いします。**
※HL7 CDA R2形式の場合は、弊社にて準備しておりますので必要ありません。
5. “フォルダ階層について”に記載してあります画像ファイルを格納するフォルダがある場合は、フォルダ名のご連絡をお願いします。
6. ディレクトリ構成
※コンテンツフォルダ配下のディレクトリ構成が本資料と異なる場合は、別途調整が必要となりますので貴社側の仕様に関する情報をご連絡ください。

4. お問い合わせ方法について

- 必要情報のご連絡や、その他ご不明点につきましては、株式会社エスイーシー ID-Linkサポートセンターまでお問い合わせください。

- **お電話でのお問い合わせ**

0138-22-7227

受付時間：月曜～金曜9：00～12：00、13：00～17：00（祝日および年末年始を除く）

- **メールでのお問い合わせ**

support@mykarte.com

お問い合わせの際には、下記情報の記載をお願いいたします。

- ・ご所属（会社、医療機関等）
- ・お客様のお名前
- ・Emailアドレス
- ・ご連絡先（住所、電話番号）
- ・連携対象病院名
- ・連携予定項目（データ形式、フォルダ階層、スケジュール等）
- ・件名：**SS-MIX2拡張ストレージ連携について** など

また、お問い合わせに対して返信を差し上げるまでに数日を要する場合がございます。

改版履歴

版数	項目	説明	日付
初版	全般	新規	2013.02.01
第2版	全般	改版等によるデータ修正時の扱いについて を追加	2013.02.12
第3版	全般	パスワード使用禁止文字 を追加	2013.03.26
第4版	全般	単一ファイル形式(XML) を追加	2013.08.13
第5版	全般	バイタル情報 を追加	2013.11.25
第6版	全般	SS-MIX2に関する記載を追加	2015.10.09
第6.1版	本環境でのテストの前に	必要情報の記述を修正	2017.04.05
第6.2版	全般 お問い合わせ方法について	文字レイアウトの微修正 電話、メールでのお問い合わせ先情報を追加	2017.08.30
第7版	全般	単一ファイル形式がPDFとXMLに分かれていたのをまとめて、記述を修正 HL7 CDA Release2版を内包化し、XMLサンプルのページ等をマージ データ種別にLOINCを用いた標準文書コード表が用意された旨を追加	2022.10.01